われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http ://izoku-okayama.jp/

運動実る!特別弔慰金の継続・増額実現

年５万円の５年国債・５年毎に２回交付

昨年末に行われた総選挙により、平成二十七年度政府予算案編成は越年することとなったが、第三次安倍内閣のもと年末返上の予算編成作業をいただき、本年一月十四日の臨時閣議で決定された。

戦没者遺族に対する処遇改善では、遺族会の命運を決する運動課題であった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」が、継続したうえで年五万円に増額され、五年ごとに国債を交付することが決まった。(平成二十七年四月一日及び平成三十二年四月一日が基準日)

更には、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の終戦七十周年記念事業としての洋上慰霊経費、遺骨収集帰還等関係費など、財政厳しい中、戦没者遺族に係わる所要経費は概ね遺族会の要望どおり計上されました。

ご支援を賜りました役員・会員の皆様方に心から感謝申し上げますと共に、ご尽力をいただきました遺家族議員協議会の諸先生方をはじめとする関係者の皆様方にお礼申し上げます。

平成27年度政府予算案に計上された戦没者遺族の処遇改善項目

平成27年１月14日

◎恩給法関係（総務省関係）

１．基本額

26年度と同額（据え置き）

２．遺族加算

26年度と同額（据え置き）

＊公務扶助料

	現　行	平成27年４月より
基本額	1,814,000円	→ 1,814,000円
遺族加算額	152,800円	→ 152,800円
支給額	1,966,800円	→ 1,966,800円
	（月額163,900円）	（月額163,900円）

＊特例扶助料

	現　行	平成27年４月より
基本額	1,420,700円	→ 1,420,700円
遺族加算額	152,800円	→ 152,800円
支給額	1,573,500円	→ 1,573,500円
	（月額131,125円）	（月額131,125円）

３．扶養加給

26年度と同額の年額　72,000円

◎遺族等援護法関係（厚生労働省関係）

１．遺族年金等（右の一覧表のとおり）

２．戦没者等の遺族に対する特別弔慰金

支給事務費（支給対象件数　123万件）　４億7,700万円

※年５万円、５年償還の国債を５年毎に２回交付

３．戦没者遺骨収集帰還の促進　16億4,900万円

⑴硫黄島遺骨収集帰還事業　10億6,500万円

⑵南方・旧ソ連地域遺骨収集帰還事業　５億8,800万円

①情報収集　３億6,100万円

②遺骨収集帰還　２億2,700万円

＊遺骨収集帰還関連事業（13地域）

フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インドネシア、パラオ、沖縄、硫黄島、旧ソ連地域（ハバロフスク、沿海、イルクーツク、アムール、ユダヤ自治州、ブリヤート共和国）

４．慰霊巡拝等　２億7,900万円

⑴慰霊巡拝（12地域）　１億500万円

フィリピン、東部ニューギニア、インドネシア、パラオ、北ボルネオ、中国、硫黄島、旧ソ連地域（ハバロフスク、沿海、ザバイカル、イルクーツク、ウズベキスタン）

⑵慰霊碑の補修等（５カ所）　9,800万円

①補修調査　インド、モンゴル

②補修工事　沖縄、ウエワク、樺太

⑶遺骨・遺留品の伝達　1,600万円

⑷戦没者遺骨に係るDNA鑑定　6,000万円

５．戦没者遺児による慰霊友好親善事業　３億6,900万円

⑴慰霊友好親善事業　３億5,100万円

①広域地域　464人、②特定地域　36人

③洋上慰霊　400人　１億8,800万円

⑵民間建立慰霊碑等整理事業　1,700万円

６．昭和館事業　４億9,700万円

７．全国戦没者追悼式挙行経費　１億5,000万円

※国費負担参列遺族等の人数を各都道府県５名増員の55名で2,585人（内、１名は18歳未満の遺族）

《公務扶助料等年額一覧表》

種別	現在の年額	27年４月より	月額	対象遺族
公務扶助料	1,966,800	1,966,800	163,900	軍人／少佐まで同額
特例扶助料	1,573,500	1,573,500	131,125	軍人／少将まで同額
扶養加給	72,000	72,000	6,000	軍人
先順位　遺族年金	1,966,800	1,966,800	163,900	軍属、一部軍人
同　遺族給与金	同　上	同　上	同　上	準軍属
同　特例遺族年金	1,573,500	1,573,500	131,120	軍属、一部軍人
同　特例遺族給与金	同　上	同　上	同　上	準軍属
後順位　遺族年金	72,000	72,000	6,000	軍属、一部軍人
同　遺族給与金	同　上	同　上	同　上	準軍属
同　特例遺族年金	56,400	56,400	4,700	軍属、一部軍人
同　特例遺族給与金	同　上	同　上	同　上	準軍属
他に公扶受給者のある妻の年金	193,200	193,200	16,100	軍人
特設年金	456,400	456,400	38,030	軍人、軍属、準軍属
特例特設年金	335,000	335,000	27,910	同上
対馬丸特別支出金	年1,376,760	年1,376,760	114,730	遭難学童

（注）上記の年額表は日本遺族会事務局の試算です。多少異動することもありますのでご了承下さい。

全国戦没者遺族代表者会議を開催
自民党本部に遺族代表百四十八人参集

日本遺族会

日本遺族会は一月十五日㈭、東京都千代田区永田町の自由民主会館ホールに全国遺族代表の参集を求め全国戦没者遺族代表者会議を開催した。会議には遺族代表百四十八人（岡山県から服部副理事長ら四人参加）のほか、自由民主党の高村副総裁、高市総務大臣、塩崎厚生労働大臣、伊吹遺家族議員協議会会長ら、自民党衆参国会議員、総務・厚生各省の局長等が出席した。

会議は午前十時、畔上和男専務理事の司会で開会した。森田次夫副会長が開会を宣し、国歌斉唱に続いて靖國の杜に鎮まるご英霊に黙祷を捧げた。

はじめに尾辻秀久会長が挨拶に立った。尾辻会長は「昨年末に行われた総選挙は自民党が大勝いたしました。これも偏に全国遺族会の皆様方のご尽力の賜であり心から感謝申し上げます。私たち遺族は戦後政治を総括し、真の保守政治の回帰に努めていかなければなりません。総理の靖國神社参拝は、安倍総理が一昨年の十二月に参拝していただきましたが、今後とも内外の批判に屈することなく参拝を続けていただきますようお願いしたい。

一方、平成二十七年度政府予算は極めて厳しい財政状況の中、本会の最重点課題でありました特別弔慰金が継続したうえで年五万円に増額し、五年毎に国債を交付することが決まりました。また、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還事業の拡充強化等々、概ね本会の要望どおりの予算計上をいただいております。自民党の国会議員諸先生方、関係省庁のご理解とご協力、更には全国遺族会の皆様方のご尽力の賜であり深くお礼申し上げます。

本年は先の大戦が終結して七十年の節目の年です。天皇陛下はこの節目の年にあたり『満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本の在り方を考えて行くことが今極めて大切なことだと思っています』と年頭に感想を述べられました。また、皇后陛下は『世界の社会の多くが報復という形をとって繰り返し行われてきた中で、我が国の遺族会が一貫して平和で戦争のない世界を願って活動を続けてきたことを尊く思っています』と、お言葉を寄せられています。

戦争を知らない世代が大半を占める今日において、日本遺族会こそが、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝え続けていく役割を担った唯一の組織と考えています。私たちは英霊を顕彰し後世代へと引き継いでいく責務があります。そのためにも後継者の育成が急務であり、孫・曾孫の組織化を積極的に進めていかなければなりません。各支部の遺族会にも一層のご尽力をお願いします」と挨拶を締め括った。

全国戦没者遺族代表者会議で挨拶する尾辻秀久会長
（平成27年１月15日：自由民主会館ホール）

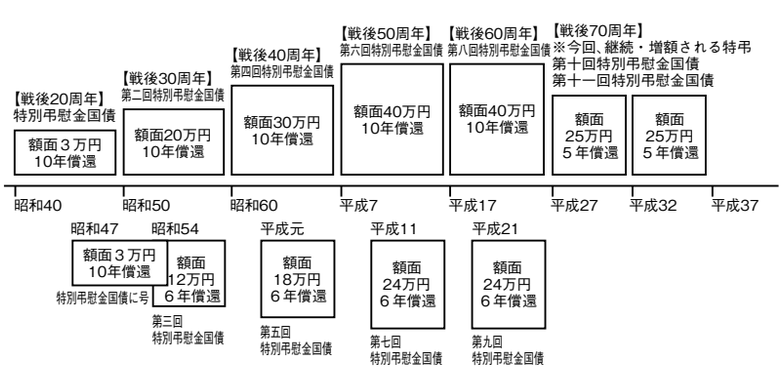
続いて来賓の挨拶に移り、自由民主党を代表して高村正彦自由民主党副総裁、そして高市早苗総務大臣、塩崎恭久厚生労働大臣、遺家族議員協議会の伊吹文明会長から英霊顕彰と遺族援護に対する力強いお言葉をいただいた。

次いで、政務ご多忙にも拘わらずご出席をいただいた自由民主党所属の衆参国会議員を紹介、会場は拍手に包まれた。

次いで、水落敏栄参議院議員（日本遺族会顧問）の発声で万歳を三唱、増矢稔副会長が閉会の言葉を述べ、午前十一時会議を終了した。

会議終了後、参加者は議員会館等に赴き、地元選出自由民主党国会議員に特別弔慰金の継続・増額実現をはじめとする遺族処遇改善のお礼と遺族援護に対する一層の支援を要請した。

特別弔慰金の支給経緯



謹賀新年

平成二十七年　元旦

理事長　岸本　清美　津山市
副理事長　服部　剛司　総社市
〃　浅野　實　真庭市
〃　須々木壽志　岡山市岡山
常任理事　難波　慶行　倉敷市倉敷
〃　岡本美智夫　美作市郡
〃　秀平　良子　笠岡市
〃　坂根　弘子　岡山市西大寺
〃　藤原　信子　倉敷市倉敷
監事　石原　育子　倉敷市児島
〃　渡邊　繁雄　井原市
理事　冨岡　義雅　岡山市西大寺
〃　徳田　伸　岡山市上道
〃　人見　信一　岡山市北
〃　佐藤　喜義　岡山市南
〃　佐々木征治　岡山市御津
〃　古家野　亘　岡山市灘崎
〃　榎本　省三　岡山市瀬戸
〃　高橋　生人　岡山市建部
〃　小島健一郎　倉敷市児島
〃　井上　晴夫　倉敷市玉島
〃　加藤　右夫　倉敷市真備
〃　田渕　潔　津山市
〃　三宅　禎浩　玉野市
〃　安藤　誠一　笠岡市
〃　田辺　隆則　井原市
〃　大月　健一　高梁市
〃　小豆澤　隆　新見市
〃　岡田幸太郎　備前市
〃　高原　能夫　瀬戸内市
〃　岡本　忠司　赤磐市
〃　大島　靖幸　浅口市郡
〃　角南　和弘　和気郡
〃　澤田　晃始　都窪郡
〃　日置　彰雄　小田郡
〃　芦川　巌　真庭郡
〃　池田　和雄　苫田郡
〃　黒田　晴義　勝田郡
〃　小林　賽全　久米郡
〃　浮森　孝雄　加賀郡
評議員　服部　晃一　岡山市岡山
〃　豊田　裕道　岡山市西大寺
〃　深井　芳子　岡山市北
〃　木村喜久江　岡山市南
〃　中田　素実　倉敷市玉島
〃　礒野　貴子　倉敷市児島
〃　森元　弘海　倉敷市玉島
〃　小椋　章光　津山市
〃　近藤　紀男　玉野市
〃　松浦　良治　笠岡市
〃　坂川　泉　井原市
〃　一視　保惠　総社市
〃　織田　和民　高梁市
〃　池田　光雄　倉敷市真備
〃　西崎　紘　備前市
〃　佐藤　悦子　瀬戸内市
〃　畑　憲孝　赤磐市
〃　白鳥　孝雄　真庭市
〃　井上　清史　美作市郡
〃　北村　好江　浅口市郡
〃　川島　晴江　久米郡
事務局　豊島　始男　事務局長
〃　渡邊千恵子　事務局員
〃　平賀　優子　〃

新年のご挨拶

一般財団法人
岡山県遺族連盟理事長
岸本清美

新年明けましておめでとうございます。

ご遺族の皆様にはお健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末に行われた総選挙により平成二十七年度政府予算案編成は越年することとなりましたが、第三次安倍内閣のもと年末返上の予算編成作業をいただき、本年一月十四日の臨時閣議で決定されました。特に、組織の命運を賭けた運動であった特別弔慰金が、継続したうえで年五万円に増額され、五年ごとに国債を交付することが決まり誠に感謝に堪えません。

更には、慰霊友好親善事業の終戦七十周年記念事業としての洋上慰霊経費など、財政厳しい中、戦没者遺族に係わる所要経費は概ね遺族会の要望どおり計上されました。

これも偏に遺族会の皆様方のご支援ご協力の賜と心から感謝申し上げますと共に、ご尽力をいただきました遺家族議員協議会の諸先生方をはじめとする関係者の皆様方にお礼申し上げます。

また、遺族の一人として、東日本大震災により閉館した九段会館の将来を心配していましたが、昨年十一月の臨時国会で日本遺族会への無償貸付に関する法律の一部改正案が成立しました。改正案では政府が土地を民間事業者に貸し付け、新たに建築した建物の一部を国が取得して遺族会へ無償で貸していただくこととなっており、誠に有り難いことであります。

しかし、戦後から今日まで私たち遺族の心の拠所である九段会館が取り壊しになることに一抹の寂しさを覚えます。営利を目的とする民間業者への貸し付けである以上、止む得ないことではありますが、歴史的な建造物である九段会館の優雅な姿を保存するような方策を願って止みません。

今年は戦後七十年の節目の年であります。戦後の混乱期に結成して以来、英霊顕彰と遺族援護を中心に運動を進めてきました遺族会は、戦没者の親・兄弟・妻の世代から遺児へと組織を引き継いで参りました。そして孫や曾孫の世代へと継承しなくてはならない時代となっています。護國神社護持や忠魂碑の維持・管理を含めた未来永劫の英霊顕彰は当然のことではありますが、核家族という社会状況に加えて英霊顕彰への関心が薄い世代が対象であり、その継承は長い時間と体力を要する案件であります。

更には、財政問題等々、遺族運動を進めるうえで難しい課題が山積していますが、国難に殉ぜられたご英霊の「声なき声」にお応えするため、引き続き会員の皆様と共に最善を模索して参ります。

結びに、ご遺族皆様方のご多幸と今後益々のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

一般財団法人
日本遺族会顧問
参議院文教科学委員長
水落敏栄

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。

昨年の総選挙では全国のご遺族皆様のご支援を賜り、自民党は二九一議席を獲得しました。心よりお礼申し上げます。

しかし、投票率は戦後最低であり、積極的な自民党支持の結果ではありません。故に我が党は数に奢ることなく、国民の皆様からの信託にお応えすべく、丁寧に、真摯に政権与党の責任を果たさなければなりません。

アベノミクスの二年の成果は、就業者の大幅増加、有効求人倍率の高水準、高校生、大学生の就職内定率の大幅改善、賃上げ率の上昇等、着実に表れていますが、消費税増税の影響や円安物価高で国民にその実感がないのが現状です。

今後は切れ目ない経済対策を実施し、十五年続いたデフレから脱却することが政権与党の命題であり、後戻りはできません。再び強い日本を再生するため、不退転の決意で取り組んで参ります。

本年は戦後七十年を迎えます。皇后陛下は昨年の傘寿の会見に際し「世界のいさかいの多くが、報復という形をとってくり返し行われてきた中で、わが国の遺族会が、一貫して平和で戦争のない世界を願って活動を続けてきたことを尊く思っています」とお触れになり、遺族として感謝にたえません。

戦後、戦没者遺族の歩んだ道のりは想像を絶する苦難の連続でした。厳しい環境下、遺族は互いに励まし合い、扶け合って遺族会を発足し、一貫して英霊顕彰と恒久平和を希求する団体として活動して参りました。

あれから七十年を経てもなお、世界各地では紛争が絶えず、悲しみは続いています。だからこそ、私たち遺族が戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に語り継ぐことが重要であり、遺族会活動のためにも特別弔慰金の継続は欠かせません。

しかし、消費税増税の先送りに伴い予算編成は緊縮財政を余儀なくされ、大変厳しい交渉が予想されますが、私は遺族会代表として、尾辻会長、古賀前会長はじめ、諸先輩方にご協力を仰ぎ、必ずや予算を獲得する覚悟でございます。

また、戦没者のご遺骨収集を「国の責務」とし、促進を図る議員立法は、法案提出を目前に総選挙のため見送られました。通常国会において必ずや成立させるべく頑張って参りますので、併せてご指導ご鞭撻をお願いいたします。

結びに、ご遺族皆様のご健康と平成二十七年がより良い年でありますことを心から祈念しご挨拶といたします。

遺族処遇改善のお礼

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

戦没者遺族の諸問題につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、平成二十七年度政府予算編成に際しましては、財政厳しい中、戦没者遺族の処遇改善に特段のご尽力を賜り、全国の戦没者遺族は等しく感謝いたしているところであります。

特に、本会の最大の課題でありました特別弔慰金につきましては、継続した上で年五万円に増額し、五年ごとに国債を交付することが決まりました。更には、戦没者遺児による慰霊友好親善事業では終戦七十周年記念事業として洋上慰霊の経費をも認めていただきました。

また、公務扶助料等につきましては据え置きとなり、遺骨収集帰還等関係費、昭和館の運営経費など、戦没者遺族に係わる所要経費が概ね本会の要望どおり計上されましたことは、偏に先生をはじめ、関係各位のご理解とご尽力の賜と深く感謝申しあげる次第であります。

今後とも英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉向上に、一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげ、お礼のご挨拶といたします。

敬白

平成二十七年一月十五日

一般財団法人　日本遺族会
会長　尾辻秀久

自由民主党所属国会議員　殿

外国地域戦跡慰霊巡拝のご案内

玉砕の島ペリリュー島など パラオ諸島方面で実施

岡山県遺族連盟

岡山県遺族連盟では毎年、県補助事業により故郷遠い外地で散華された日本軍将兵の苦難の足跡を辿り、御霊をお慰めするため外国地域戦跡慰霊巡拝事業を行っています。

平成二十六年度はフィリピン地域を計画しましたが諸般の事情により中止することとなり、再度、巡拝地域を検討した結果、三月二十日から四泊五日の日程でパラオ諸島を巡ることになりました。

四月には天皇陛下がペリリュー島をご訪問になられることが発表されましたが、パラオ諸島は私たちの肉親が南方へ向かうために立ち寄った島々であり、制空・制海権なき状況下、祖国防衛の最前線として死守した玉砕の島々であります。

祖国帰還叶わず散華された戦没者の御霊をお慰めし感謝の誠を捧げたいと存じますので、多くの皆様方のご参加を賜りますよう様ご案内申し上げます。

目次	月日	地名	時間(現地)	交通機関	行程
1	3/20(金)	岡山県西口発	5：00	定期高速バス	岡山及び山陽IC駐車場経由、関西空港へ
		関西空港着	8：30		着後、搭乗手続き
		関西空港発	11：05	UA-150	空路、グアムへ
		グアム空港着	15：40		
		グアム空港発	18：45	UA-153	グアム島からパラオへ
		パラオ空港着	20：00	専用車	…コロール島泊
2	3/21(土)	コロール島発	午前	高速船	高速船でペリリュー島へ
		ペリリュー島	終日	専用車	着後、【ペリリュー島内慰霊巡拝】「西太平洋戦没者の碑」で全戦没者追悼式
					…ペリリュー島泊
3	3/22(日)	ペリリュー島発	午前	高速船	高速船でコロール島へ
		コロール島	終日	専用車	着後、【コロール島内慰霊巡拝】平和の礎・南洋神社参拝、Pドックなど
					…コロール島泊
4	3/23(月)	コロール島発	午前		専用車でバベルダオブ島（パラオ本島）へ
		バベルダオブ島	終日	専用車	着後【バベルダオブ島内慰霊巡拝】ガスパン慰霊塔、ガスパン兵站病院、受信指令部、パイナップル工場跡、爆撃機彗星など
			23：30頃		専用車でパラオ空港へ
5	3/24(火)	パラオ空港発	2：10	UA-158	空路、グアムへ　…機中泊
		グアム空港着	5：15		
		グアム空港発	7：00	UA-151	空路、関西空港へ
		関西空港着	10：05		入国手続き後、
		関西空港発	11：35	定期高速バス	山陽及び岡山IC駐車場経由、岡山駅西口へ
		岡山駅西口着	15：10頃		着後、解散

◎参加経費　175,000円也（遺族会会員で２名１室の経費）
※上記以外の方は30,000円の追加経費でお受けします。
※旅行傷害保険加入は任意です。
◎募集人員　20名程度
◎お申込　２月19日㈭までに岡山県遺族連盟へ／期日厳守
※上記日程は交通機関の都合により時刻等が変更になる場合があります。

ペリリュー島に日本政府が建立した「西太平洋戦没者の碑」
（平成23年1月実施の慰霊巡拝時に撮影）

遺族会の動き

平成二十七年一月行事表

1日　歳旦祭（県護國神社）
3日　元始祭（県護國神社）
9日　倉敷市遺族連合協議会新年互礼会（倉敷市役所）
12日　岡山市瀬戸遺族連合会護國神社参拝・新年互礼会（総社市内）
15日　全国戦没者遺族代表者会議（東京・自由民主会館）
16日　県護國神社大総代・総代合同会議（いさお会館）
20日　赤磐市遺族連合会役員会（赤磐市山陽総合福祉C）
25日　津山市遺族連合会新年互礼会（津山国際H）
27日　日遺事務局長会議（旧九段会館）
日遺女性部幹事会（旧九段会館）
30日　新見市遺族連合会新年互礼会（新見市内）
31日　瀬戸内市遺族連合会役員会（牛窓町内）
岸本清美後援会事務所開き（津山市内）

平成二十七年二月行事表

6日　北方領土返還要求岡山県民大会（岡山市北区柳町・さん太ホール）
7日　県連盟女性部研修会（岡山ロイヤルH）
11日　逢沢一郎新春の集い（Hグランヴィア岡山）
25日　県連盟役員・市郡事務担当者合同研修会（予定）
26日　日遺第６回理事会（靖國会館）
27日　日遺事務局長会議（旧九段会館）
日遺政都道府県本部事務局長会議（旧九段会館）

平成二十七年三月行事表

6日　県連盟常任理事会（県連盟会議室）
14日　県連盟第５回理事会（県連盟大会議室）
20日　県連盟外国地域戦跡慰霊巡拝（パラオ諸島方面）四泊五日
岡山陸軍墓地春季彼岸祭（岡山市北区津高・岡山陸軍墓地）
21日　「青年部」の組織化に向けての日遺研修会（東京都・アルカディア市ヶ谷）一泊
26日　岡山市北遺族連合会護國神社参拝・研修会（いさお会館）
28日　県連盟第４回評議員会（県連盟大会議室）

遺書

陸軍軍曹　本多　正　命
昭和十九年二月二十四日
マーシャル諸島ブラウン島にて戦死
東京都新宿区牛込改代町出身
二十四歳

妹へ
呉々も身体に注意して俺の分まで母さんに孝養を尽くしてくれ。
古来の日本婦人の如く、又、母さんの様に我を強く内に蔵してしとやかな日本婦人になる様修養してくれ。
よき母こそ日本を実に興隆させる原動力になる事を自覚して。
言ふなかれ一髪のみと我が魂は
七度生まれ祖國守らば
正

澄子殿

（原文のまま）

【平成二十七年一月靖國神社社頭掲示】